

# 水田魚道設置指導者全国研修会

## ～ 開催案内～

### 1. 趣旨

近年、国民の食の安全安心や環境に対する関心の高まりに伴い、生きものとの共生を謳ったお米などの農産物が増えてきています。さらに「ほ場整備で田んぼの生きものが少なくなった」、「田んぼにドジョウやメダカを呼び戻したい」といった声も聞こえてきています。

このような中、農業農村整備事業では、事業の実施において環境との調和に配慮した様々な取り組みが行われるとともに、近年では、多面的機能支払交付金制度を活用した地域資源の質的向上を図る活動として、『水田魚道』の設置等が進められています。

このため、地域環境資源センターでは、農村地域に生息する生きものを保全するとともに、地域の環境意識の向上や環境保全型農業の推進等に繋がる水田魚道の普及を促進するため、水田魚道の設置・管理・モニタリング等に係る指導者を育成するための研修会を開催しています。

### 2. 主催者

一般社団法人 地域環境資源センター

### 3. 開催日

令和4年6月14日（火）～6月15日（水）

### 4. 研修会場

1日目 講 義：エポカ21(くりはら交流プラザ) 本館 多目的ホール「虹の間」

住所：〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷279-2

電話：0228-23-0021

見学・説明：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

住所：〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2

電話：0228-33-2216

2日目 現地実習：伊豆沼・内沼周辺（宮城県栗原市地内）

### 5. 宿泊先

宿泊場所：ホテル エポカ（くりはら交流プラザ エポカ21内）

住所：〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷279-2

電話：0228-23-8866

※1：予約は主催者側で一括して行います。（シングル朝食付き）

※2：研修会場及び宿泊先については、別紙1もご参照ください。

### 6. 対象者および定員

都道府県、市町村、土地改良事業団体連合会、土地改良区、

多面的機能支払交付金活動組織 等

定員20名（先着順）

## 7. カリキュラム

別紙2のとおり

## 8. 参加費

(1) 受講費	15,000円 (教材費、保険料等)
(2) 宿泊費	6,600円 (シングル1泊)
〃	770円 (朝食)

※1: 受講費の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。なお、振込手数料は別途ご負担願います。

※2: 宿泊費は、当日ホテルにて個別にお支払いいただきます。

※3: 例年、1日目の夜に交流会を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に係る状況を考慮し、今回は開催しないこととしました。

## 9. 申込み

巻末の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて、以下の宛先にお送りください。申込用紙は、当センターホームページ (<http://www.jarus.or.jp/> トップページ「新着情報」) よりダウンロードすることもできます。

締め切りは、**6月3日(金) 17:00(先着順)**とさせていただきます。

※ 本研修は農業土木技術者継続教育プログラムのCPD 認定申請中です。

## 10. 申込の受理および受講決定

お申し込みは先着順に受理します。定員になり次第、締め切りとします。

受講決定及び詳細は、**6月8日(水)**頃にご連絡させていただきます。

※ 参加者には研修会の事前案内と請求書を郵送します。

なお、申込者が少数の場合や、新型コロナウイルス感染症に係る状況によっては、本研修会を中止とする場合がございますので、予めご了承ください。

(一社) 地域環境資源センター 農村環境部 (担当: 藤田・田中)

【お問い合わせ電話番号】 03-5425-2461

【FAX宛先】 03-3432-0743

【メール宛先】 y.fujita@jarus.or.jp (藤田) yu.tanaka@jarus.or.jp (田中)

## 令和4年度 水田魚道設置指導者全国研修会 会場位置図



## &lt;研修会場・宿泊先&gt;

研修会場：エポカ 21（本館：多目的ホール「虹の間」）

宿泊先：ホテルエポカ

住所：〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷 279-2

くりこま高原駅東口隣接。

東北自動車道築館 IC 又は若柳金成 IC から車で約 15 分。駐車場あり。

電話：0228-23-0021(研修会場)／0228-23-8866(宿泊先)

## &lt;現地実習会場&gt;

場所：宮城県栗原市築館八沢新中谷地（伊豆沼・内沼周辺）



## 令和4年度 水田魚道設置指導者全国研修会 カリキュラム

6月14日（火）（1日目） 講 義：エポカ 21（本館：多目的ホール「虹の間」）  
見学・説明：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

6月15日（水）（2日目） 現地実習：伊豆沼・内沼周辺

	時間	内容等	
6月14日 （火）	13:15	集 合	集合場所：エポカ 21（本館入口付近）
	13:15～ 13:45（30分）	移 動	バス移動（エポカ 21 → サンクチュアリセンター）
	13:45～ 14:35（50分）	見学・説明	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
	14:35～ 14:50（15分）	移 動	バス移動（サンクチュアリセンター → エポカ 21）
	14:50～ 15:00（10分）	休 憩	
	15:00～ 15:10（10分）	挨拶	主催者挨拶
	15:10～ 16:00（50分）	室内講義①	講師：メダカ里親の会 事務局長 中茎元一 『水田魚道を普及しよう ～その現状と課題～』 ・農村環境の基礎知識（生き物を中心に） ・水田魚道の必要性 ・水路魚道の現状と課題 ・栃木での取組事例
	16:00～ 16:50（50分）	室内講義②	講師：ナマズのがっこう 事務局長 三塚牧夫 『水田魚道の開発・普及と波付U型、丸型の設置方法と管理について』 ・水田魚道の開発経過 ・水田魚道の開発方針 ・水田魚道の設置方法 ・水田魚道の管理方法
	16:50～ 17:10（20分）	質疑応答	
	17:10～ 17:20（10分）	事務連絡	
6月15日 （水）	8:00～ 8:30（30分）	集合・移動	バス移動（エポカ 21 → 実習場所）
	8:30～ 11:30（3時間）	現地実習	水田魚道の設置と遡上調査の実習（屋外）
	11:30～ 12:00（30分）	修了証授与 記念撮影	
	12:00～ 12:30（30分）	移動・解散	バス移動（実習場所 → くりこま高原駅）

※カリキュラムは変更する場合があります。